

平成 29 年度

施政方針

竹 富 町

目 次

1	はじめに	1
2	町政運営、施策の基本的な考え方	2
3	ふるさとづくりの基本目標について	2
4	安全・安心で快適に暮らすふるさとづくり	4
5	幸せな暮らしを共に支えるふるさとづくり	4
6	島人を育て心を育むふるさとづくり	5
7	環境を守り自然と調和したふるさとづくり	5
8	活力あふれ飛躍するふるさとづくり	6
9	個性と魅力がキラリと輝くふるさとづくり	6
10	参画と協働による町民が主役のふるさとづくり	7
11	結びに	8
	平成 29 年度竹富町一般会計予算案並びに特別会計予算案	9
	ふるさとづくりの基本政策に基づく主な施策	10

平成 29 年第 2 回竹富町議会 3 月定例会の開会にあたり、議員諸賢のご出席を賜り、本会議が恙なく開催されますことを心から感謝申し上げるとともに、議員諸賢の常日頃の御精励・御活躍に深甚なる敬意を表するものがあります。

1 はじめに

私が、町民と共に創造する豊かな未来づくりを訴え、第 20 代竹富町長として、町政運営に当たらせていただくことになり、早いもので半年が過ぎようとしています。竹富町の未来を創っていく上で、まちの課題が山積し、行政運営が厳しさを増しているこの時期、町政を預かる者として責任の重さに改めて身の引き締まる思いでございます。

本町の世界に誇る類まれな自然環境や伝統文化、そして何よりも島々で暮らす人々の人情は、何物にも代え難い貴重な財産であります。また、我がふるさとは、日本最南端の町として、日本の排他的経済水域に寄与するなど、地理的にも特徴のある町であります。自然と島人が共生する、この素晴らしいふるさと竹富町は、私にとって誇りであります。

私は、町長に就任して、多くの方々の考えを伺いました。これらふるさとづくりへの思いを改めて検証し、町政に反映すべきものは積極的に取り入れてまいりたいと考えております。

今回の新年度予算は、私にとりまして、初めての予算編成でありましたが、心豊かでいきいきと暮らすふるさとづくりに向け、常に自らの責任で町政の先頭に立つことを心掛け、「決める行政、決める政治」を信念に全身全霊を捧げて町政運営に取り組む決意であります。

議員諸賢並びに町民の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

2 町政運営、施策の基本的な考え方

私は、これまで、多くの町民の皆様と出会い、意見を伺う機会を得ました。その中で、まちづくりに対して多くの思いや期待があること、また、現状や将来に対して様々な不安があることを感じました。私は、町民から託されたそのような強い思いに応えるため、町民との対話を通して、町民に身近なところでふるさとづくりの課題をとらえ、ともに知恵を絞り、課題解決に向けたビジョンを示し、島々の発展を目指してまいります。

その第一歩として、竹富町4千2百人総活躍社会の実現に向けて全庁あげて取り組み、参画と協働による町民が主役のふるさとづくりを進めてまいります。

地方創生への動きが本格化し、今まさに、独創的なまちづくりが求められております。健全な行財政運営のもと、適正で効率的・効果的な町政が推進できるよう、大胆な改革を推進してまいります。

私を育ててくれたふるさと日本最南端の町、竹富町の限りない発展を押し進めていくため、私が、町長選挙の公約に掲げて訴えてまいりました、四つの基本目標と七つの基本政策を柱として、町政運営、施策の推進に当たってまいります。

3 ふるさとづくりの基本目標について

基本目標の第一は、「質の高い行政サービスの提供」であります。

私は、昨年9月に町長に就任してから、町民にとってわかりやすく、利便性の高い、また、職員にとって能力を発揮しやすく、多様な課題に柔軟に取り組めるよう内部組織の再編に取り組んでまいりました。平成29年度からは、新たな組織体制のもと、継続的な改革プロセスを導入し、時代に即した質の高い行政サービスの提供に取り組んでまいります。

行政サービスの拠点となる役場本庁舎の整備については、散在する島々を全体的に見渡しながらか、整備にかかる諸課題と真っ向から向き合い、すべての情報を開示し、議会と協調のもとにその解決に向けて全力を尽くしてまいります。

第二は、「協働と協調のふるさとづくり」であります。

まちの主役は町民であります。そこに住むすべての町民が笑顔で、いきいきと活躍してこそ、まちの振興発展があるのだと考えております。本町は、厳しい自然条件下にありながらも、幾多の困難を乗り越え、日本最南端の大自然と文化の町へと発展してまいりました。ここに暮らす4千2百人余の竹富町民には大きな力があります。私は、町民が安心してその力を発揮できるよう、町民の中にある不安感を払拭し、町民の皆さんと連携して、互いに助け合い、支え合う地域社会の形成に努めてまいりたいと考えております。

第三は、「持続型社会の実現に向けたふるさとづくり」であります。

我がふるさと竹富町には、世界に誇る類いまれな自然環境や伝統文化、日本最南端の町としての地理的条件など、数多くの特徴や長所を有しています。このような、宝を財産として、しっかりと認識するとともに、率先してその魅力を発揮し、将来にわたる生活の基盤となる、環境の保全と経済発展が両立できるような持続型社会の実現に取り組んでまいります。

第四は、「愛着と誇りを共有できるふるさとづくり」であります。

島々や地域が主体となった課題解決や身近な地域づくりに向けて、わかりやすいしくみづくりを構築し、地域の力によってその魅力や個性を引き出すとともに、島々や地域の歴史や文化が多様な竹富町の魅力をより大きく育てることによって、町民が愛着と誇りを共有できるまちづくりを進めてまいります。

ただ今、申し上げました町政運営や施策の基本的な考え方、ふるさとづくりの基本目標に基づき、平成 29 年度の基本政策につきまして、その大要を御説明申し上げます。

4 安全・安心で快適に暮らすふるさとづくり

まず、一つ目の基本政策「安全・安心で快適に暮らすふるさとづくり」についてであります。

全ての町民が、安全で安心して生活できるよう、関係機関、団体との連携を密にしながら、交通安全対策や犯罪防止に努めてまいります。また、昨年度、本町で開催された、沖縄県総合防災訓練の教訓をもとに、本町内における危機管理体制の強化を図ってまいります。

安全で快適な道路空間が図られるよう、各地域からの要望等も踏まえ計画的な町道整備を推進してまいります。また、地域ごとの特性や課題に応じて、町営住宅の整備や住宅リフォームの支援を実施し、竹富町の島々らしい魅力ある住宅・居住環境の提供に努めてまいります。

適正な下水処理による環境保全と衛生的な生活環境の維持、自然環境や集落の景観保全に努め、環境と共生し調和のとれた美しいふるさとづくりに取り組んでまいります。

水道事業については、経年劣化が著しい東部第 1 区の新城島(上地)～黒島間の海底送水管の布設替工事を行い、清浄な水道水の安定供給に努めてまいります。

5 幸せな暮らしを共に支えるふるさとづくり

次に、二つ目の基本政策「幸せな暮らしを共に支えるふるさとづくり」についてであります。

住み慣れた地域で、自立と尊厳を大切にし、生涯にわたりいきいきとすこやかに暮らせるように、町民の安心を保障する持続型の地域福祉と町民の経済的負担の軽減を図るため、移動交通費や食品・日用品輸送費等の負担軽減に取り組み、生活の利便性向上、定住促進に努めてまいります。

健康増進、高齢者福祉、障がい福祉等については、すべての町民が、地域でいつまでも自立した生活をおくることができるよう、保健、医療、福祉、社会保障制度等を維持し、安心な暮らしを保障してまいります。

6 島人を育て心を育むふるさとづくり

次に、三つ目の基本政策「島人を育て心を育むふるさとづくり」についてであります。

出産や子育て支援については、引き続き移動交通費や宿泊費等の支援策に取り組み、経済的負担軽減と安心して出産や子育てができる環境整備に取り組んでまいります。

児童生徒の心身の健全な発育に資するとともに、安全・安心で快適な教育環境づくりを推進し、小中併置校の特性を生かした小中連携・一貫教育に取り組んでまいります。また、幼児・児童生徒一人一人の可能性を伸ばし、未来を切り拓く資質・能力の育成を図るため、ICT教育の推進、読書活動の充実、外国語能力や異文化理解能力の育成、家庭学習支援等を推進し、併せて地域の活性化と直結する学校存続、社会教育・生涯学習等に取り組んでまいります。さらに、本町の専門職の人材育成・確保を図るため、平成29年度から運用開始する奨学金制度を推進してまいります。

7 環境を守り自然と調和したふるさとづくり

次に、四つ目の基本政策「環境を守り自然と調和したふるさとづくり」

についてであります。

自然環境の保全と地域の環境美化等については、関係機関や地域と連携し、自然環境・生物多様性の保全、希少な野生生物の保護、生活環境・公衆衛生の向上及び地域の環境美化等に取り組み、併せて世界自然遺産登録に向けて積極的に取り組んでまいります。

本町周辺の海域の保全・活用及び国益としての離島の役割の重要性をかんがみ、本町の潜在能力を十分に発揮していくための海洋施策に取り組んでまいります。

8 活力あふれ飛躍するふるさとづくり

次に、五つ目の基本政策「活力あふれ飛躍するふるさとづくり」についてであります。

島嶼まちとして諸機能の向上を図るため、海上、航空交通網の整備を推進し、町内交通の円滑化と利便性向上に取り組んでまいります。

情報通信については、超高速ブロードバンド環境整備を推進し、ICTを活用した就業創出等に取り組んでまいります。また、商工業については、伝統工芸技術の伝承や特産品の販売促進に取り組んでまいります。

基幹産業である、さとうきび、水稻、パイナップル、マンゴー、畜産、その他の農林水産業については、安定した産業基盤づくりを支援し、地域に根ざした、魅力ある6次化やブランド化を進めてまいります。また、新規就農者の確保及び担い手の育成に取り組んでまいります。

9 個性と魅力がキラリと輝くふるさとづくり

次に、六つ目の基本政策「個性と魅力がキラリと輝くふるさとづくり」についてであります。

地域の歴史や文化に根ざした竹富町らしさを大切にするとともに、さらに、新しい魅力を創造し、イメージの向上を図ってまいります。

近年、人気を博している星空ツアーなど地域の資源を活用した新たな観光の振興を図り、八重山圏域の石垣市、与那国町と連携し、本町を含む八重山地域への観光客の誘致に取り組んでまいります。また、観光地としての満足度を高めるため、必要な観光施設の整備に取り組んでまいります。

豊でうるおいのある生活と個性ある地域づくりをめざして、集落景観の保全、多様な伝統文化・芸能の継承、町史発刊に取り組んでまいります。

10 参画と協働による町民が主役のふるさとづくり

次に、七つ目の基本政策「参画と協働による町民が主役のふるさとづくり」についてであります。

個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現に向けて、新たな自治のしくみをつくり、町民本位の行政運営を推進するとともに、地域課題の解決や新たな公共サービス提供のための環境を整備し、町民と行政の協働によるふるさとづくりを推進してまいります。

財政の健全化と安定した財政基盤の確立に向けて、それぞれの基金の趣旨に即した有効な運用と公共施設等の更新経費に係る財政負担の平準化など、効率的で透明性の高い公共施設マネジメントを推進してまいります。また、併せて地方公会計の整備促進に取り組んでまいります。

自主財源の確保については、課税客体の的確な把握や滞納繰越額の縮減、納税者の利便性の向上と収納確保に努め、併せてふるさと納税を推進してまいります。

1 1 結びに

以上、平成 29 年度の町政運営に対する基本的な考え方と基本政策について、その概要を説明申し上げます。

これまでの説明をもとに予算編成した結果、一般会計では、前年度当初比 38.5%増の 76 億 2,118 万 4 千円としました。また、特別会計では、前年度当初比 4.1%減の 25 億 4,847 万 1 千円としたところであります。

一般会計と特別会計を合わせた予算案の総額といたしましては、前年度当初比 24.6%増の 101 億 6,965 万 5 千円とした次第であります。

それぞれの予算案の総額と主な施策については、後掲のとおりでございます。

私は、7 期 26 年の町議会議員としての経験を生かした政治的判断力、農業で培った体力と忍耐、そして、地域活動を通じて養った協調性を生かし、「決める行政、決める政治」を信念に、常にスピード感をもって町政運営に邁進する決意でございます。

議員諸賢並びに町民の皆様におかれましては、私の意とする所をおくみ取りいただき、町政運営に格段の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます、平成 29 年度に臨む施政方針といたします。

平成 29 年 3 月 3 日

竹富町長 西大舛 高旬

平成 29 年度竹富町一般会計予算案並びに特別会計予算案

一 般 会 計 予 算	7,621,184 千円
国民健康保険事業特別会計予算	763,095 千円
介護保険事業特別会計予算	389,311 千円
後期高齢者医療特別会計予算	32,033 千円
水道事業特別会計予算	1,321,751 千円
下水道事業特別会計予算	32,236 千円
農業集落排水事業特別会計予算	10,045 千円
総 額	10,169,655 千円

ふるさとづくりの基本政策に基づく主な施策

① 安全・安心で快適に暮らすふるさとづくり

交通安全・消防・防災対策

(交通安全の啓発活動、防災危機管理体制の強化、救急患者搬送業務)

干立地区防災機能改善事業

竹富町住宅リフォーム支援事業

竹富浄化センター「下水道長寿命化計画」(実施設計)

景観保全業務

西表東部公園整備事業

町営住宅整備事業(白浜団地)

町道荒原線道路改良工事

町道与那原線道路改良工事

波照間観光関連事業

波照間ニシ浜園路及び駐車場整備工事

船浮縦4号排水路整備事業

中野1号線道路改良工事

町道住吉3号線道路改良工事

大富道路改良工事

西表東部第1区海底送水管布設替工事

② 幸せな暮らしを共に支えるふるさとづくり

健康増進事業(各種がん検診、健康教育・相談、食生活改善等)

難病等患者支援（渡航費及び宿泊費の助成）

国民健康保険事業（保健指導、保険税の適正賦課及び収納対策）

後期高齢者医療事業（疾病、負傷等に関する給付金の支給）

介護保険事業（介護予防事業、ふれあいサロン事業）

高齢者福祉事業（渡航費の助成、お出かけサポートモデル事業）

障がい福祉事業（渡航費及び宿泊費の一部助成）

竹富町民等船賃負担軽減事業

離島食品・日用品輸送費等補助事業

③ 島人を育て心を育むふるさとづくり

妊産婦支援事業（渡航費、宿泊費、航空運賃等の助成）

乳幼児健康診査事業

（赤ちゃんの発育・栄養状態の確認、先天性疾病の早期発見、予防接種事業等）

母子保健事業（両親学級、乳幼児相談、離乳食・幼児食実習等）

こども医療費助成事業

（こども医療費及び渡航運賃等の助成、こども医療費貸付制度の導入）

児童福祉事業（複合型福祉施設整備事業）

竹富町ふるさと応援奨学生制度の推進

波照間小学校校舎改築工事

鳩間小中学校校舎改築工事

小浜中学校教員宿舎新築工事（設計）

学力向上推進事業

小中連携・一貫教育の推進
学校 I C T環境整備事業
学校 I C T支援員派遣事業
図書館教育の充実
竹富町児童生徒の心と体を育む支援事業
家庭学習支援モデル事業
外国語指導助手派遣事業
ホームステイ事業
鳩間島留学施設新築工事
社会教育・生涯学習の充実

④ 環境を守り自然と調和したふるさとづくり

世界自然遺産登録の推進
第2次竹富町海洋基本計画策定事業
沿岸域の総合的管理に関する共同研究事業の推進
地域自然資産法による保全・管理・活用事業
生活環境の保全対策（清掃点検、そ族昆虫駆除の実施）
不法投棄・海岸漂着物対策
地球温暖化対策の推進
竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護事業
竹富町クジャク・イノブタ駆除事業
デイゴヒメコバチ防除事業
西表島巨樹・巨木保全事業

⑤ 活力あふれ飛躍するふるさとづくり

沖縄県超高速ブロードバンド環境整備促進事業

竹富町 I T 就業移住促進事業

波照間島における地域住民主導による大型宿泊施設の実現可能性調査

離島航路確保維持改善事業費等補助金

竹富町織物事業後継者育成事業

さとうきび生産事業

(含みつ糖に適した収穫機械化体系の確立、脱葉施設の導入、各地域に適した生産対策や担い手育成の実施、「黒糖の日」普及啓発)

もちきび生産事業

(担い手農家の確保、新規就農の参入促進、生産組織の活性化、栽培技術の品質の向上)

水稻生産事業 (「ミルキーサマー」の普及拡大)

水産物供給基盤機能保全事業

畜産事業

(家畜伝染病予防対策事業、優良母牛導入事業、畜産担い手育成総合整備事業)

県営かんがい排水事業 (上原 1 期地区)

県営農地整備事業経営体育成型 (与那良原地区)

県営水質保全対策事業耕土流出防止型 (小浜地区)

団体営農地保全整備事業 (波照間西地区)

農業基盤整備促進事業 (竹富町第 2 地区)

農業水利施設保全合理化事業 (波照間地区)

新規就農者の確保及び担い手の育成

青年就農給付金事業の活用

新規就農一貫支援事業

農地の有効活用

人・農地プランの推進

赤土流出防止対策の推進

パイナップル、マンゴー、かぼちゃ、ばれいしょ等生産事業

(生産支援、栽培講習会の実施、ブランド化の推進)

⑥ 個性と魅力がキラリと輝くふるさとづくり

沖縄 Free Wi-Fi 統合環境整備事業

祖納上村土地利用計画策定基礎調査業務

竹富町観光誘客・受入対策事業

(宣伝誘客活動、受入体制整備、観光人材育成、観光振興基本計画策定、星空保護区認定に向けた取り組み)

西表浦内観光関連事業

重要伝統建造物郡保存修理事業

竹富町古謡発表会開催補助

ピサダ道保存修理事業

文化財美化保全事業

竹富町デンサ節大会

竹富町史発刊事業 (第8巻西表島・近代開拓編)

⑦ 参画と協働による町民が主役のふるさとづくり

公共施設等総合管理計画に基づく公共施設マネジメントの推進

地方公会計の整備促進

小浜集会施設建設工事

鳩間島野外ステージ周辺環境整備事業

頑張る地域応援プロジェクト

石垣支所及び出張所整備に係る基礎調査業務

自主財源の確保

(徴税職員併任人事協定に基づく滞納整理、徴収率向上、口座振替及びコンビニ収納等の推進、竹富町ふるさと納税制度の推進)